

# 神戸市障害者スポーツ 振興センターだより

No. **44**  
2025.9



- 第64回神戸市障害者スポーツ大会 卓球競技・ボッチャ競技 .....2
  - 第64回神戸市障害者スポーツ大会 水泳競技・フライングディスク競技・陸上競技 .....3
  - 第33回全国身体障害者野球大会 ～大会結果～ .....4
  - 第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025」  
神戸市代表選手紹介 .....5
  - パラスポーツ王国HYOGO&KOBE“夢プロジェクト2025”～お知らせ～ .....6
  - こうべ障がい者音楽フェア2025 JOYFUL CONCERT～お知らせ～ .....7
  - 西日本座位バレーボール選手権大会 .....8
- 第45回初級パラスポーツ指導者養成講習会  
障害者スポーツ振興センター職員紹介



# 神戸市障害者スポーツ大会

神戸市における障害者スポーツの祭典、第64回神戸市障害者スポーツ大会が開催されました。1961年に身体障害者スポーツ大会としてスタート。64年の歴史のある大会です。現在は、障害種別を問わず、卓球、ボッチャ、水泳、フライングディスク、陸上の各種目を開催。今年は全5競技に、延596名の選手が参加され熱戦を繰り広げました。本大会は令和7年10月25日(土)～27日(月)にかけて、滋賀県で開催される“第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」”の選考会を兼ねています。

## 【卓球競技】

日 程: 令和7年4月20日(日)

会 場: 神戸市立中央体育館

参加者: 157名 (身体障害 48名・知的障害 102名・精神障害 7名)

『第64回神戸市障害者スポーツ大会』の中で最初に開催された卓球競技。157名の選手が個々の目標に向かって日頃の練習の成果を発揮しようと、一打ごとに真剣な表情でプレーし各コートで白熱した戦いを繰り広げました。多彩なテクニック(フォアハンド、バックハンド)や攻撃テクニック(ドライブ、カット等)をさまざまな障がいのある選手は見事に駆使していました。

会場は選手への声援や、選手の気合い溢れる声が響き渡りました。

視覚障害者によるSTT(サウンドテーブルテニス)の種目も行われました。一般的な卓球とは異なり、卓球台から浮かせたネットの下を、金属球の入ったボールの転がる音を頼りに打ち合います。静寂に包まれた会場では、ボールを打ち合う選手のラリーの音だけが響き渡り、観衆も無言で競技を見守りました。



競技会場



身体障害の部



サウンドテーブルテニス

## 【ボッチャ競技】

日 程: 令和7年4月27日(日)

会 場: 神戸市立王子スポーツセンター

参加者: 18名 (身体障害)

『第64回神戸市障害者スポーツ大会』ボッチャ競技は肢体不自由者を対象に、開催されました。まだまだ参加選手も少なく、初めて大会に参加した選手や、ランプ使用の選手では大会当日に初めて会うオペレーターと、短い練習時間の中でコミュニケーションを取りながら、緊張の中で試合に臨みました。

全国大会への出場をかけた選考大会でもあり、一投、一投に力が入り投球もなかなか思い通りにいかず苦戦され、会場は緊張と興奮が漂っていました。そのような中で一生懸命プレーする姿に、観客の皆さんは温かい拍手と声援をおくりました。



座位の部



立位の部



オペレーターと共に！！



審判

## 【水泳競技】

日 程: 令和7年5月18日 (日)

会 場: こうべ市民福祉スポーツセンター 10階プール

参加者: 81名 (身体障害15名・知的障害66名・精神障害0名)

今年も多くの選手が出場し、大会開始前から会場には独特の緊張感と高揚感が漂いました。

選手の皆さんは日頃の練習の成果を発揮する貴重な機会であり、全国障害者スポーツ大会への出場選手を選考する重要な大会でもあります。自己ベストを目指して力泳を見せてくれました。プールサイドでは熱い声援をおくる指導者、家族や仲間同士で励まし合う姿も見られました。

ゴール後には、達成感でいっぱいの選手の笑顔が会場を温かい雰囲気包み込み、スポーツの持つ力を改めて感じさせる一日となりました。

また、競技運営にはスポーツリーダーの皆さんも多数参加し大会をサポート。大会の円滑な進行を支え、選手たちの真剣な競技を見守りました。



選手以上に計時員も練習に力が入ります。

一斉にスタート!!



大切な記録を正確に!

## 【フライングディスク競技】

日 程: 令和7年5月24日 (土)

会 場: しあわせの村運動広場

参加者: 96名 (身体障害者 29名・知的障害 65名・精神障害 2名)

大会当日は朝からあいにくの雨模様…。選手の皆さんは、天候が記録に影響される厳しいコンディションの中での競技となりました。

アキュラシー競技(10投中アキュラシーゴールに何投通せるかを競う)とディスタンス競技(遠投型、3回ディスクを投げて飛距離を競う)の2種目(座位クラスと立位クラス)を実施。アキュラシー競技では雨にも負けず、集中力を切らさずアキュラシーゴールを狙う真剣な姿に、ディスタンス競技では雨の影響を受ける中、それでも力強くディスクを投げる姿はとても印象的でした。粘り強く競技に取り組み、日頃の練習の成果を発揮していました。



受付



雨にも負けず…



アキュラシー競技

## 【陸上競技】

日 程: 令和7年5月25日 (日)

会 場: 神戸総合運動公園ユニバー記念競技場

参加者: 244名 (身体障害 65名・知的障害 177名・精神障害 2名)

開会式は雨の中、小野 龍之介 選手(第23回全国障害者スポーツ大会 陸上競技 200m 銀メダル、100m銅メダル)の選手宣誓で『神戸市障害者スポーツ大会 陸上競技』が開幕しました。競技開始時には雨も止みましたが選手の皆さんは、ぬれたトラックにも動じることなく、これまでの練習の成果を存分に発揮し、力強い走りやジャンプ、投てきなどで会場を沸かせました。

来年もまた、『神戸市障害者スポーツ大会』で、一人でも多くの選手の方に、自己記録に挑戦していただけるよう準備してまいりたいと思います。



選手宣誓: 小野選手



ジャベリックスロー



選手と伴走者、息の合った走り



50m走

# 第33回全国身体障害者野球大会 ～交流戦～

日 程：令和7年5月17日(土)雨天中止・18日(日)  
会 場：ほっともっとフィールド神戸・G7スタジアム神戸  
参加チーム：16チーム

「障害者の甲子園」とも呼ばれる全国身体障害者野球大会が、5/17(土)～18(日)の二日間、神戸市内の球場で開催されました。初日は残念ながら悪天候のため中止となりましたが、二日目には晴れ間が広がり、予定を変更して交流戦として大会が行われました。大会形式が変わったにもかかわらず、選手たちの士気は高く、会場には試合を待ちわびた熱気が立ち込めていました。

交流戦の開始に先立ち、神戸市内の野球チーム(神戸レッドガール、神戸レッドガールジュニア、枝吉パワーズ、本山フレンズ、明神スラッガーズ)5チームのピッチャー、キャッチャー、バッターによる始球式が行われました。子どもたちがマウンドに立ち、堂々と投げたボールがキャッチャーミットに収まると、大きな拍手と歓声が球場を包み込みました。このセレモニーが選手たちにも大きな勇気と笑顔を与え、大会の幕開けにふさわしい温かなひとときとなりました。



神戸市内野球チームによる始球式



交流戦では全国から集まったチームが一戦一戦を全力で戦い抜きました。打球音が響くたび、観客席からは拍手と歓声上がり、野球の持つ力強さと一体感を改めて感じさせる場面が続きました。選手同士がハイタッチを交わし、時には笑顔で励まし合う姿からは、競技を超えた絆が生まれていることが感じられました。

## 身体障害者野球ルール工夫

基本的には通常の軟式野球ルールを適用しますが、障がいを考慮し、さまざまな特別ルールが設けられています。

- 【打者代走】** 写真のように、攻撃しているチームのバッター以外に同チームの選手がバッターボックスの近くに立っています。下肢障がい者で走ることが困難と認められる選手の打席には、代わりに他の選手の打者代走が認められます。
- 【走 塁】** 盗塁は認められません。ただし、タッチアップは認められます。
- 【バント】** 原則として認められません。但し、障害の影響でバンドのような動作しかできない選手は認められます。



代走打者

## 組み合わせ表 ～交流戦～

雨天の影響により試合時間を変更し交流戦を開催しました

### 【A】ほっともっとフィールド

### 【B】G7スタジアム神戸

始球式

第1試合  
9:00～10:40

岡山桃太郎

3 対 0

神戸コスモス

福島アクロス

2 対 8

京都ビアーフレンズ

第2試合  
10:50～12:30

香川チャレンジャーズ

4 対 4

大阪ジャガーズ

北九州フューチャーズ

12 対 1

阪和ファイターズ

※同点ジャンケンにて香川の勝利

第3試合  
12:40～14:20

ぎふ清流野球クラブ

4 対 4

阪神ダンデライオンズ

静岡ドリームス

4 対 10

千葉ドリームスター

※同点ジャンケンにて阪神ダンデライオンズの勝利

第4試合  
14:30～16:10

東京ジャイアンツ

13 対 3

愛媛ブレイド

東京ブルーサンダース

4 対 16

名古屋ビクトリー

## 「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 2025」

## 全国障害者スポーツ大会とは

全国障害者スポーツ大会は、障がいのある選手が競技等を通じスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がいのある人の社会参加を推進することを目的とした障がい者スポーツの全国的な祭典です。

昭和40年(1965年)から開催されてきた「全国身体障害者スポーツ大会」と平成4年(1992年)から開催されてきた「全国知的障害者スポーツ大会」が統合され、平成13年(2001年)から「全国障害者スポーツ大会」として毎年、国民体育大会(R6より国民スポーツ大会名称変更)のあと、同じ開催地で行われています。今年度は、滋賀県で開催されます。10月25日(土)～10月27日(月)までの3日間で、個人7競技、団体7競技の計14正式競技と、そのほか障害のある方にスポーツを普及することを目的とした、オープン競技(4競技)が実施されます。

大会は3日間の会期で開催され、全国から都道府県・指定都市選手団約5,500人(選手約3,600人、役員約2,000人)が参加します。



湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く  
国スポ・障スポ 2025

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

## 大会開催期間

2025年(令和7年)10月25日(土)～27日(月)

[大会ホームページへ▶](#)

## 神戸市選手団紹介

4月～6月にかけて開催された神戸市障害者スポーツ大会(卓球、ボッチャ、水泳、フライングディスク、陸上)や各競技における大会での、成績等をもとに選考されました。

神戸市代表として参加される64名の選手をご紹介します。

神戸市  
出場選手

## 水 泳



松本 弦起 光田 蒼生  
笠本 明里 村上 彩  
中西 勇一郎

## ボーリング



琴寄 夏之介 濱田 和彦

## ボッチャ



澤田 亮輔 今枝 正臣

## 陸上競技



福元 剛士 山中 颯人  
小倉 慎司 桧原 一颯  
有熊 宏徳 近藤 友介  
上部 美帆 横田 誠之  
山下 瑞稀 勝浦 瑠菜  
神山 那奈 則枝 亜季  
井上 菜月 永井 千恵  
村田 恵也 木村 美月  
三谷 保弘 佐々木 琢真  
竹内 蓮

## 卓 球



渡辺 温暉 藤原 あやめ  
山本 雅子 坂野 公彦  
石井 翔 吉倉 佳奈

フライング  
ディスク

遠山 健司 渡辺 喜美子  
打浪 良雄 吉谷 陽姫

車いす  
バスケット  
ボール

植田 真悟 川西 恵三  
野田 徳文 古野 祥子  
重松 勇二 佐野 裕明  
戸田 学 岸本 大輔  
柏村 洋平 黒木 新吾  
是友 京介

ソフト  
ボール

児玉 恭範 林 健太  
一色 哲郎 西澤 光将  
有馬 毅 照喜名 成  
安田 耕平 上井 莉久  
中山 将貴 岩間 春貴  
金子 直裕 榎本 淳史  
藤田 謙治 西村 拓真  
汀 智裕

開催の  
おしらせ

# パラスポーツ王国

HYOGO & KOBE

## “夢プロジェクト2025”

in しあわせの村

令和7年11月9日(日) 10:30~16:00  
(15:30受付終了)



兵庫県  
マスコット  
はばタン



### パラスポーツを学び、体験しよう!!

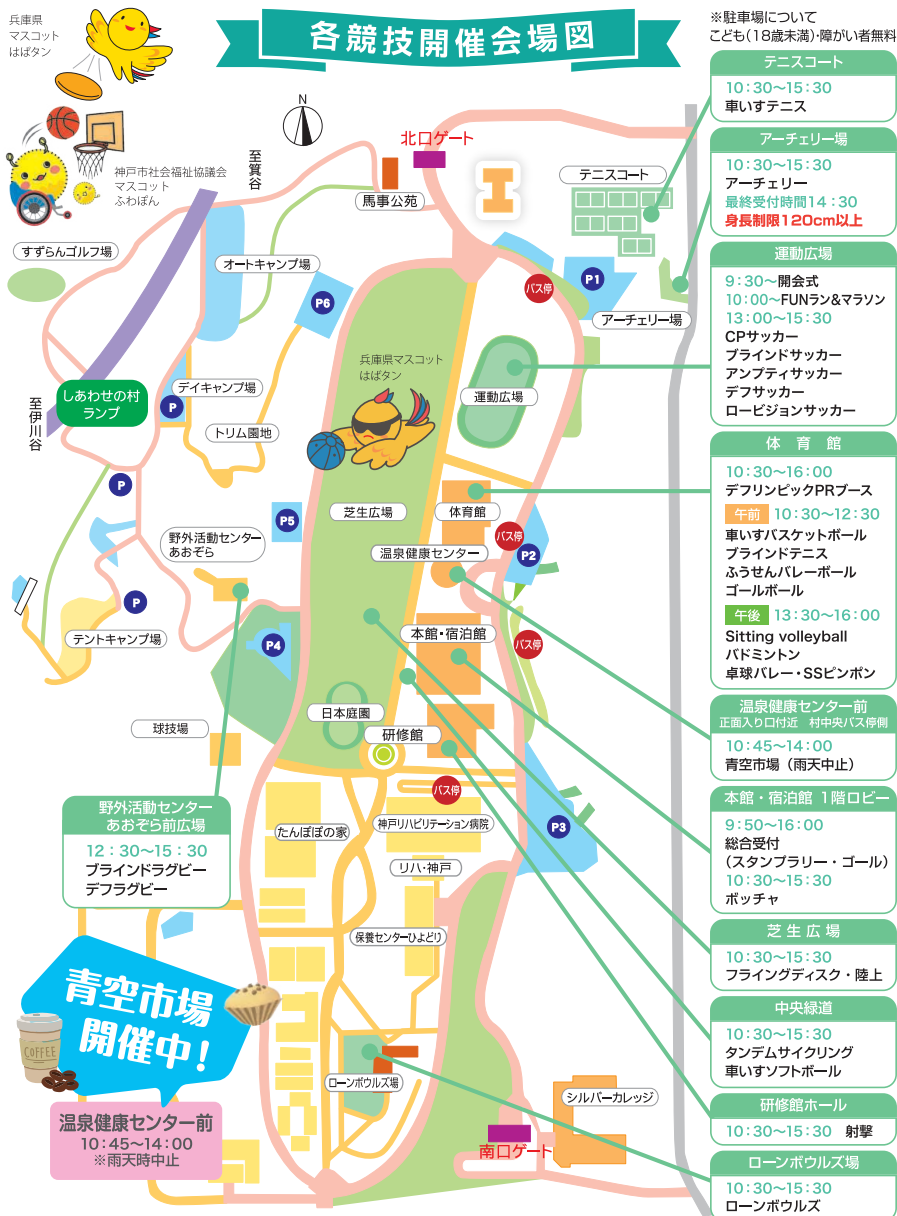
パラスポーツって、どんな種目があるの?どうやってやるの…?

実はいっぱい種目もあるし、それぞれ独自のルールがあつてとっても楽しいんです!

パラリンピック競技からたくさんのパラスポーツをやってみよう!

参加無料  
予約不要

### 各競技開催会場図



体験された方には、

缶バッジを  
プレゼント!

※各競技個数限定



みなさんのご参加を  
お待ちしております。

<お問い合わせ>

兵庫県障害者スポーツ協会

電話: 078-362-3280

FAX: 078-362-9040

神戸市社会福祉協議会

障害者スポーツ振興センター

電話: 078-271-5330

FAX: 078-271-5367

こうべ市民福祉振興協会

(しあわせの村)

電話: 078-743-8193

FAX: 078-743-8180

チケット  
販売中

KOBE INCLUSIVE MUSIC FAIR

# JOYFULL CONCERT

こうべ障害者音楽フェア2025

Vol.19

2025年

12月20日土

会場

神戸新聞松方ホール

(神戸市中央区東川崎町1-5-7神戸情報文化ビル4階)

入場料: 1,000円 全席自由席

※小学生以上は入場料が必要 ※当日券はありません

車いす席、情報保障席(手話通訳・要約筆記・磁気ループ)あります。

開演14:00(開場13:30)

今年で19回目を迎える障害者の音楽の祭典「こうべ障害者音楽フェア 2025JOYFUL CONCERT」を開催いたします。障がいのある人の音楽活動の発表の場として、また障がいのある人もない人も音楽を通じて感動を分かち合う交流の場として、開催しています。ちょっと早い、クリスマスプレゼントに素敵な音楽をゆっくりと楽しみませんか。多くの方のご来場をお待ちしております。



ゲスト

出演者プロフィール

神戸のワクワクロックンロールバンド

ワタナベワラワ

「とにかく楽しく!誰にでも分かりやすいロックンロール」を目指し結成された日本で唯一のワクワクロックンロールバンド。

「ヴィッセル神戸応援大使」「神戸市立王子動物園応援隊長」など数々の応援隊長を務め、神戸市(環境局、建設局、交通局)の3つの局と公民連携を締結した神戸市公認バンドとして、関西を中心に活動中。

さまざまな分野で活躍するメンバーで、さらに活動の場を広げている。紅白歌合戦、白組のトップバッターとして赤色の衣装で登場するのが夢。

葉満 啓祐



先天性全盲。2歳頃から淡路盲学校教育相談に通いながら、洲本市の中川原保育所、小学校、中学校を経て、淡路聴覚特別支援学校高等部 普通科を卒業。4歳でピアノを、13歳で三線に出会い、向井敏二琉球音楽研究所向井敏二先生に師事。琉球民謡協会のコンクールでは、2011年に新人賞、2013年に優秀賞、2015年に最高賞を受賞。2013年~2014年には宮城県山元町から南三陸町までの仮設住宅で演奏を行い、2018年にはいわき市復興住宅でも演奏するなど、被災地支援にも取り組んでいます。2019年には教師免許を取得。沖縄音楽を広めるため、三線仲間と琉球古典民謡を中心に、さまざまなジャンルの曲を三線(さんしん)で演奏しています。

斎藤 玲奈



5歳からピアノを始め、10歳の頃には点字楽譜を使って曲を覚えるようになりました。桐朋学園大学音楽学部を卒業後、同大学院の修士課程・博士課程を修了。これまでに第42回カワイ音楽コンクール全国大会ピアノ部門ソロの部大賞、第3回カワイアジアピアノコンクール審査員特別賞、第63回ヘレン・ケラー記念音楽コンクール第1位など、多くのコンクールで受賞を重ねてきました。三上桂子さん、塚原恵美子さんに師事し、北海道・東京・埼玉など各地のコンサートに出演、オーケストラとの共演も行っています。これまで取り組んできた練習の成果を、ジョイフルコンサートの舞台上で多くの方に届けられることを楽しみにしています。

チーム六星



神戸市立盲学校に通う中学2年生・三橋奏太さんと小学5年生・吉本桜椀(よしもとおうか)さんによるデュオチーム。「視覚に障がいがあっても、音楽を思いきり楽しめることを伝えたい!」という思いから結成されました。三橋奏太(みつはし そうた)さん 生まれつき全盲。善家麻貴先生の下で基礎を学び、近年はコード進行の理解も深まり、自己流での演奏も楽しんでいます。2019年には、健常者も参加するジュニアピアノコンサートで奨励賞を受賞。吉本桜椀(よしもと おうか)さん 生まれつき網膜に異常があり、視力に障がいがあります。幼い頃から家族を通じて音楽に親しみ、小学校からオカリナを始めました。現在は小林理子先生のもとで学び、毎年発表会に出演しています。

チケット販売所

- ・神戸国際会館プレイガイド TEL: 078-230-3300
- ・e+(イープラス)でお近くのコンビニにある発券機で支払い・受取、もしくは二次元コードからスマートチケットの購入・受取が可能です。



問い合わせ先

こうべ障害者音楽フェア実行委員会事務局  
(神戸市社会福祉協議会障害者スポーツ振興センター内)  
TEL: 078-271-5330 FAX: 078-271-5367

## 開催報告 第22回 西日本座位バレーボール選手権大会

日程：2025年6月21日(土)・22日(日)  
会場：神戸市立王子スポーツセンター  
参加チーム：男子6チーム・女子5チーム  
結果：男子 優勝：大阪アタッカーズ 準優勝：Soul(魂)  
女子 優勝：Soul(魂) 準優勝：京都おたべーず 花子



男子6チームは1日目に予選リーグを行い、順位を決定。2日目は決勝トーナメントを行いました。女子5チームはリーグ戦で順位を決定しました。各チームは日頃の練習の成果を存分に発揮し、白熱したラリーや粘り強いプレーで会場を大いに沸かせました。

本大会は、西日本地区において座位バレーボールを通じ、障がいのある人もない人も共に楽しみ、交流を深め、競技力の向上や普及・振興を図るとともに、心身の健康と豊かで潤いのある生活の実現につながる大切な機会となりました。

## 開催報告 第45回初級パラスポーツ指導員養成講習会

令和7年7月5日(土)～7月26日(土)の4日間にわたり神戸市内に在勤・在中・在学の方を対象に「第45回初級パラスポーツ指導員養成講習会」を開催しました。

講義では、さまざまな障がいへの理解、現場での安全管理、円滑なコミュニケーションスキルについて学び、受講者は熱心に耳を傾けていました。実技では、視覚障がい者スポーツの指導における留意点や工夫を体験し、実技的な知識を深めました。

修了された方は初級パラスポーツ指導員として地域の大会や教室、スポーツ現場でのサポートを通じて、パラスポーツの普及とスポーツを通じた交流の輪を広げていきます。実践の場でパラスポーツ指導員として継続して活動されることを願っています。

次回は令和8年1月に開催予定です。



講義：パラスポーツの意義と理念



実技：視覚障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫

※参加申込方法等、詳しくは下記HPをご覧ください。



<https://kobesad.jp>

障害者スポーツ振興センターホームページ

### お知らせ

障害者スポーツ振興センター、Instagram(インスタグラム)・LINE、始めました。ご登録よろしくお願いたします!!



## 職員紹介

今年度も、障害者スポーツ振興センターをよろしくお願いいたします。

### 【センター長 林】

障害者の皆さんがスポーツや文化活動に継続的に取り組んでいただけるよう、基盤整備を推進してまいります。

### 【阿部】

7月よりスポーツ振興センターに配属になりました阿部です。

### 【藤井】

5月から入職しました藤井です。趣味はバスケットボールと筋トレです。よろしくお願いいたします!

